

# テーマ4 技術提案



- ・伊那北高校、弥生ヶ丘高校の学校林を活用



伊那北高校  
学校林見学

弥生ヶ丘高校  
学校林は標高が  
高く、冬は断念



- 松食い虫に対する対策が急務の上伊那の森林
- 材木に関する地域の技術力の体感



地域の製材所の仕事を見学



地域の木材加工の技術力を見学

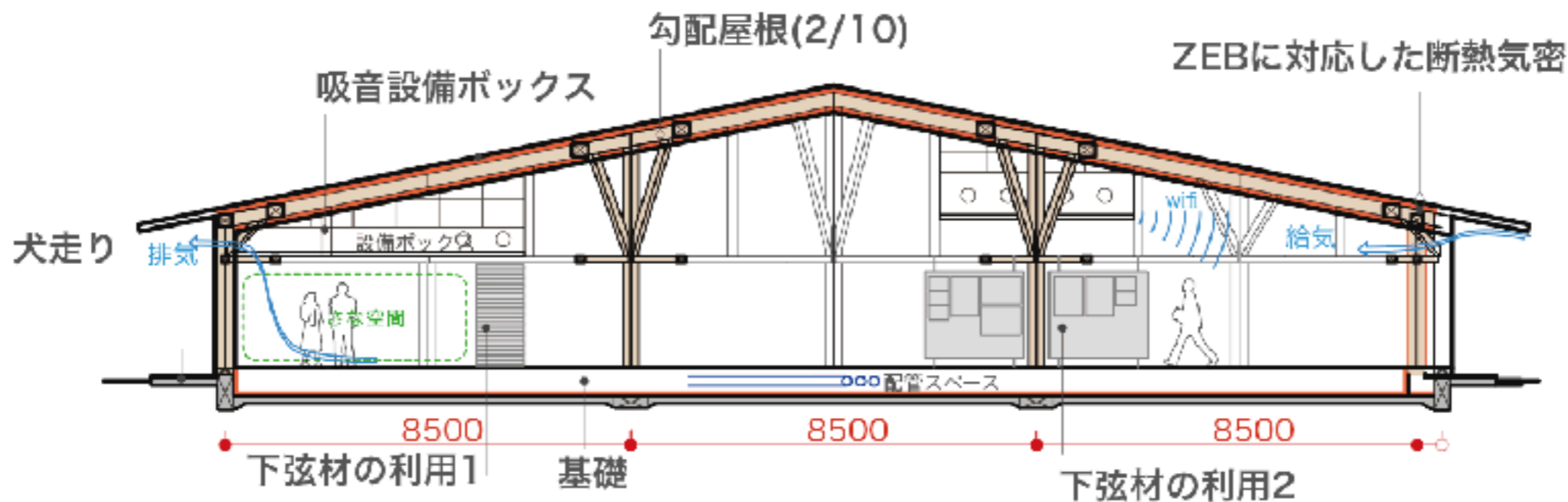
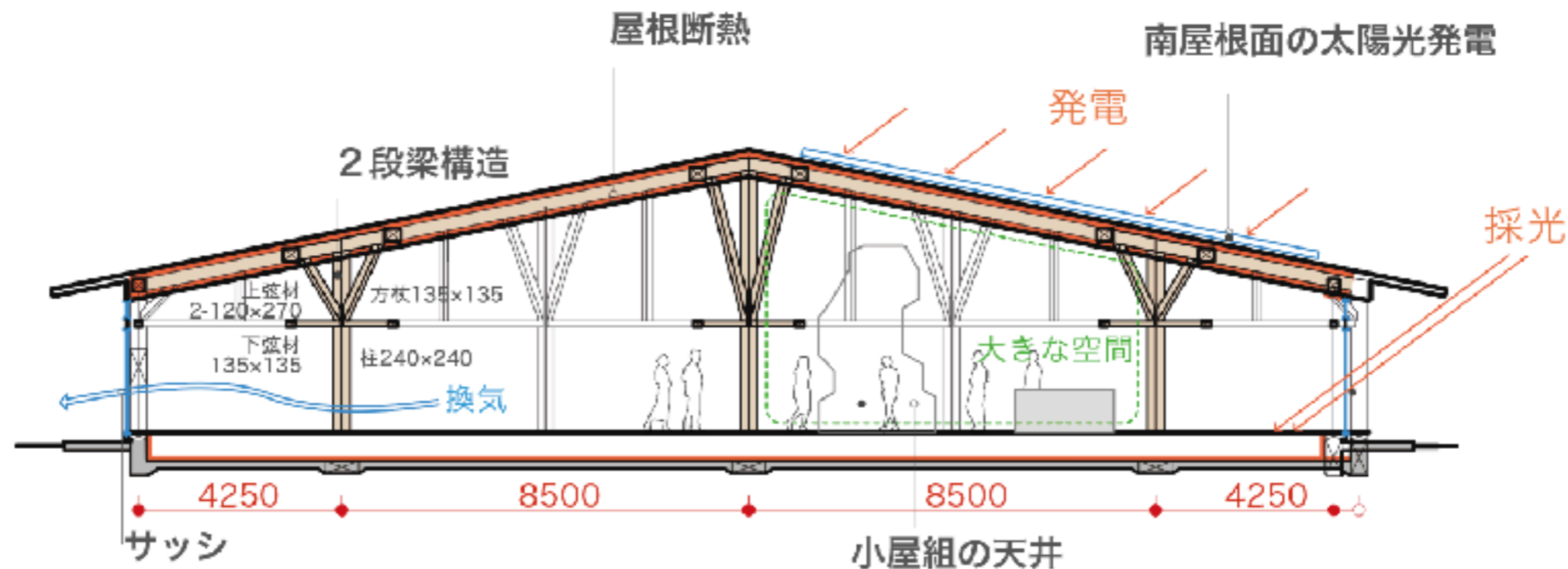


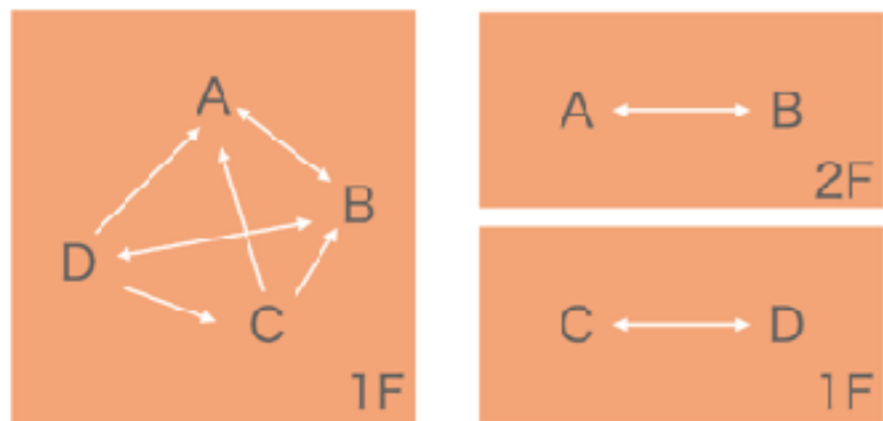
伐採期を迎え皆伐している赤松の森の伐採現場を見学



# 学校建築と木造

- 勾配を抑え、凍結に配慮したシンプルな屋根
- 探究授業の協働制作に対応できる大きな場所
- 設備機器スペースと下弦材を利用した小さな場所





出合いの多い平屋

## 平屋の教育空間のメリット

- ・ 他の人の活動が見渡せる
- ・ 場所と使い方の豊富なバリエーション
- ・ 自由な動線を選べるバリアフリー
- ・ 外、内、地域も教育空間として使い倒す



自由な動線

## コストに対する対応

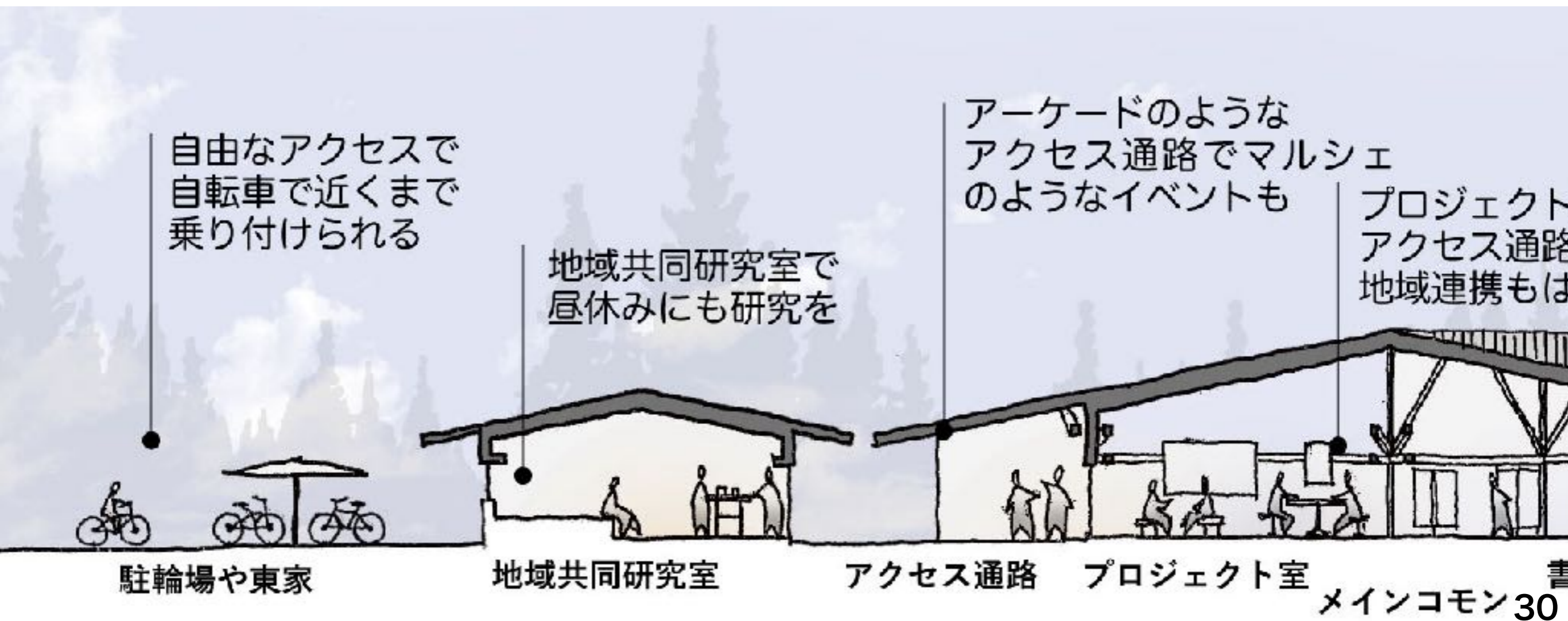
- ・ エレベーター不要（維持費不要）
- ・ コンクリート、掘削の少ない基礎形状
- ・ シンプルな屋根形状、漏水リスクを削減



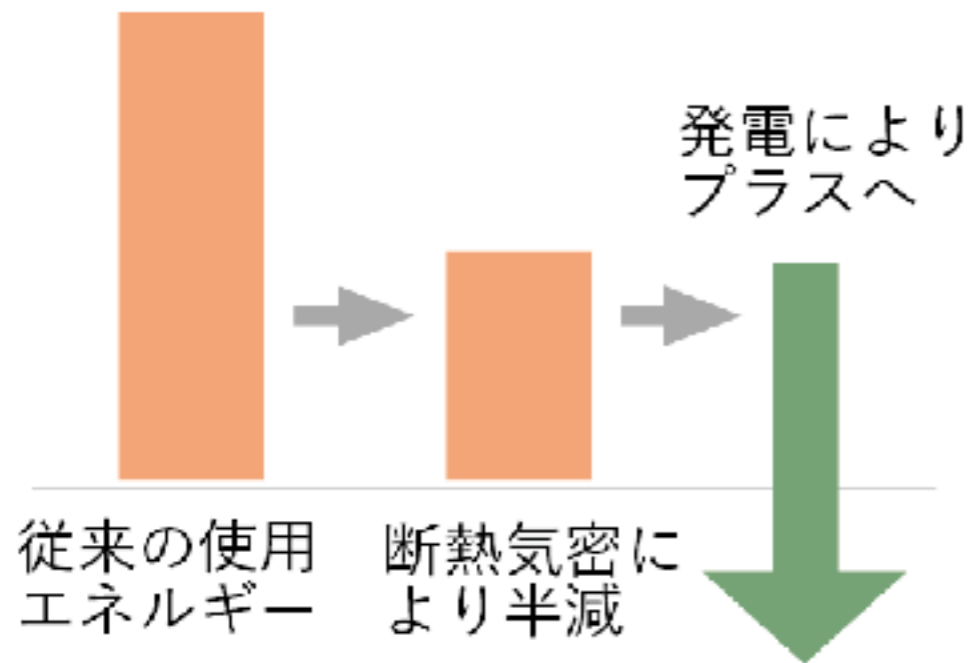
# 平屋の特徴

- ・ 歴史的背景をもつ佇まい
- ・ 内外が多様につながるバリアのない平屋空間

1928年の伊那北高校







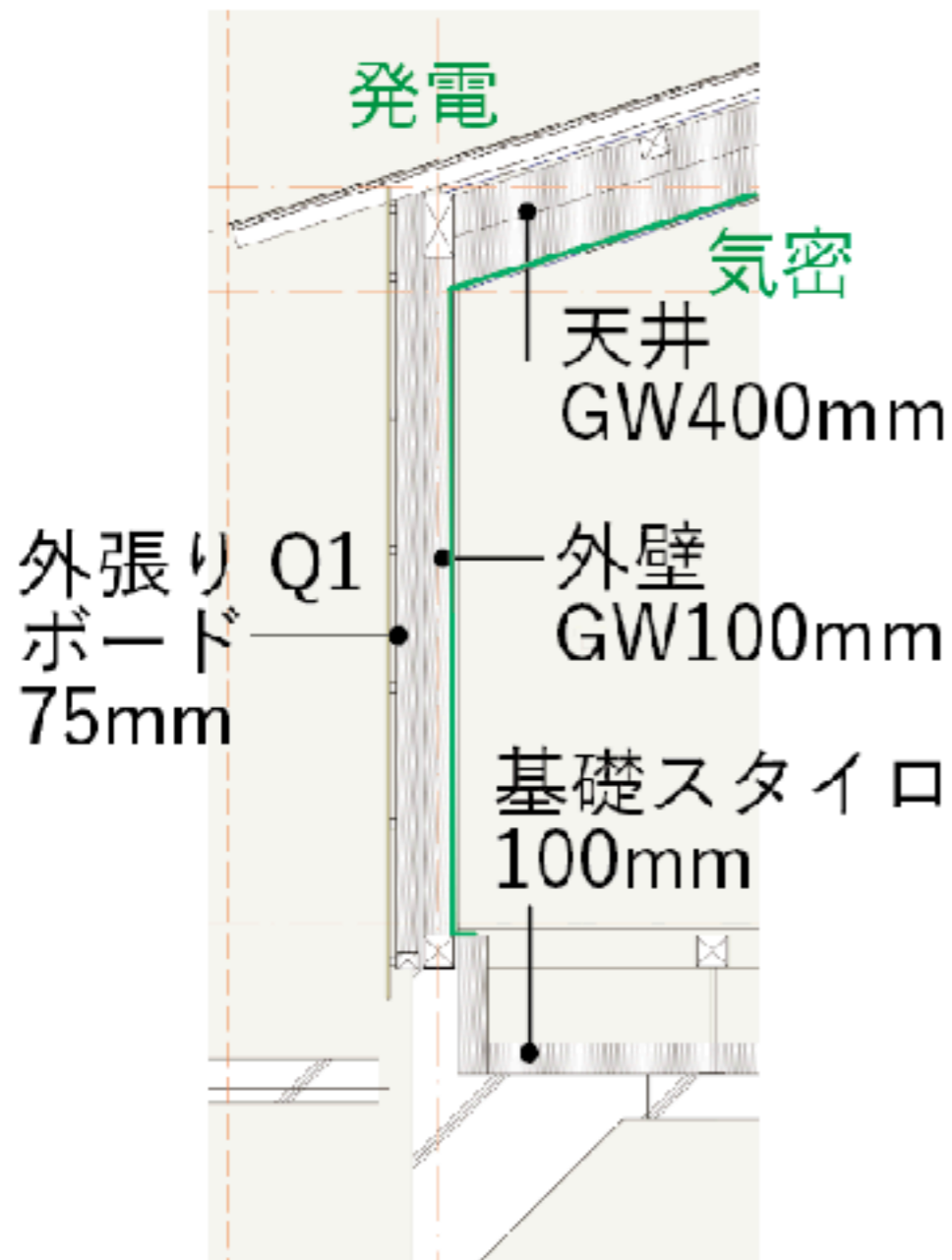
北側大空間でも快適なオフィス

## ZEBの教育空間的メリット

- ・ 空調の区画が不要
- ・ 動線空間を教育空間として利用可能
- ・ 北側、南側どちらも快適な温熱環境
- ・ 大空間でも上下の温度差なし



現在の高校の温熱環境の調査



仕様例

### コストに対する対応

- ・ 既成汎用品で高性能化
- ・ PPAによる屋根貸し方式も検討
- ・ 空調機の負荷が小さく安価

### 設計監理上のポイント

- ・ 確実な施工を監理できる経験
- ・ 熱交換換気による空気質の管理

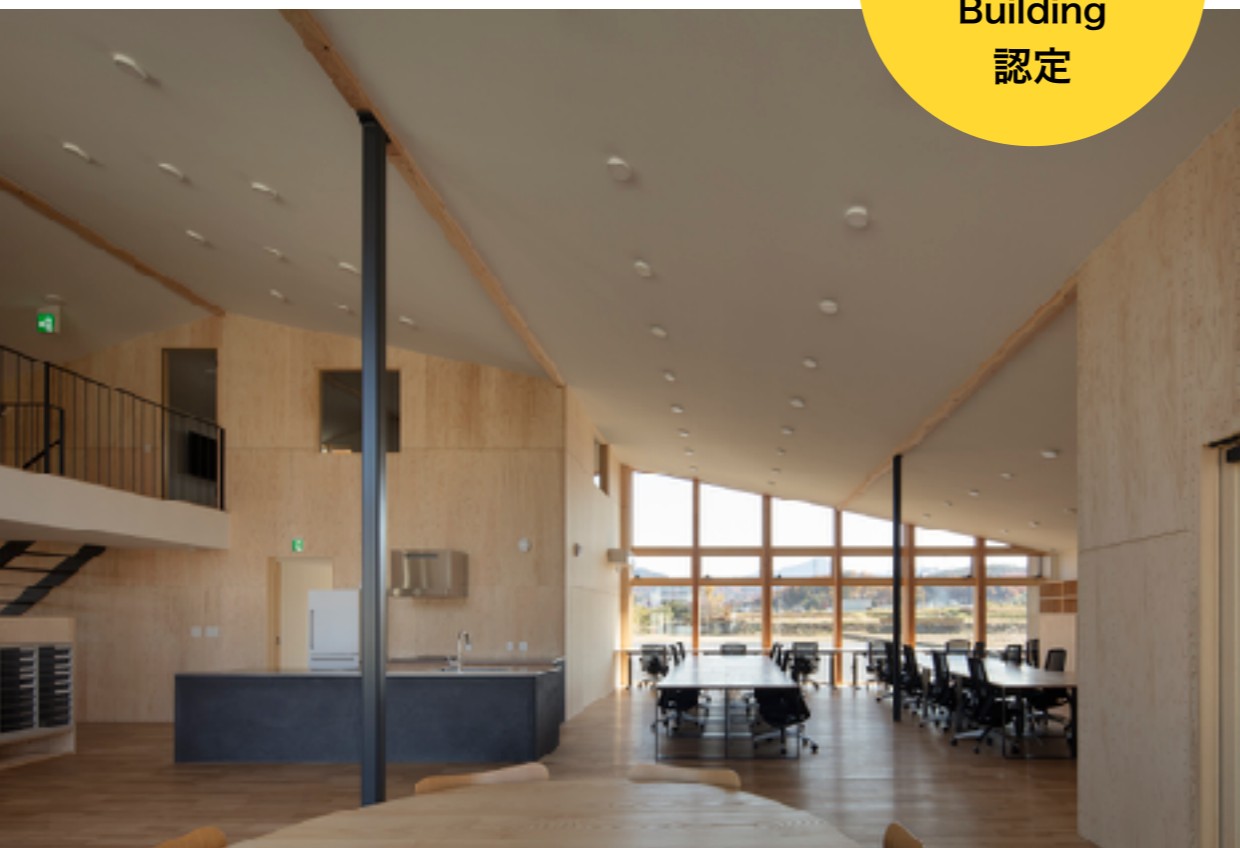


# ZEBによる教育空間

- ZEBに関する業務実績
- ZEB以上のプラスエネルギー建築

Ua値0.28

Low Energy  
Building  
認定



2021年 長野県佐久市 木下建工オフィス 90万/坪

Ua値0.26

エコハウス大賞  
新築部門  
最優秀賞



2022年 軽井沢町 共同住宅 80万/坪

**プラスエネルギー建築：**

その建物で使用する全ての消費エネルギーを創エネルギーが上回る状態



# テーマ5 ワークショップ



# 基本計画のスケジュール

年		2023					
月		1	2	3	4	5	6
だれが	なにを	基本計画					
プロジェクトチーム (県教委、設計JV)	目的・成果	建築：建築概要、規模策定、配置計画、建替計画、既存利用 教育：教育プログラムの概要 地域：地域参加プログラムの概要 ・基本計画以降のプロセス					
	↑						
ワーキンググループ (先生、懇話会の一部のメンバー)	検討	建築：空間の配置と要素（ゾーニングとユニット） 教育：教育プログラムと建築の関係 地域：地域参加プログラムの検討					
	↑						
新校ワークショップ (誰もが参加できるオープンな場)	イメージ・課題	学びの体験 教育者が整えたい体験 地域が提供できる体験					

専門的な判断



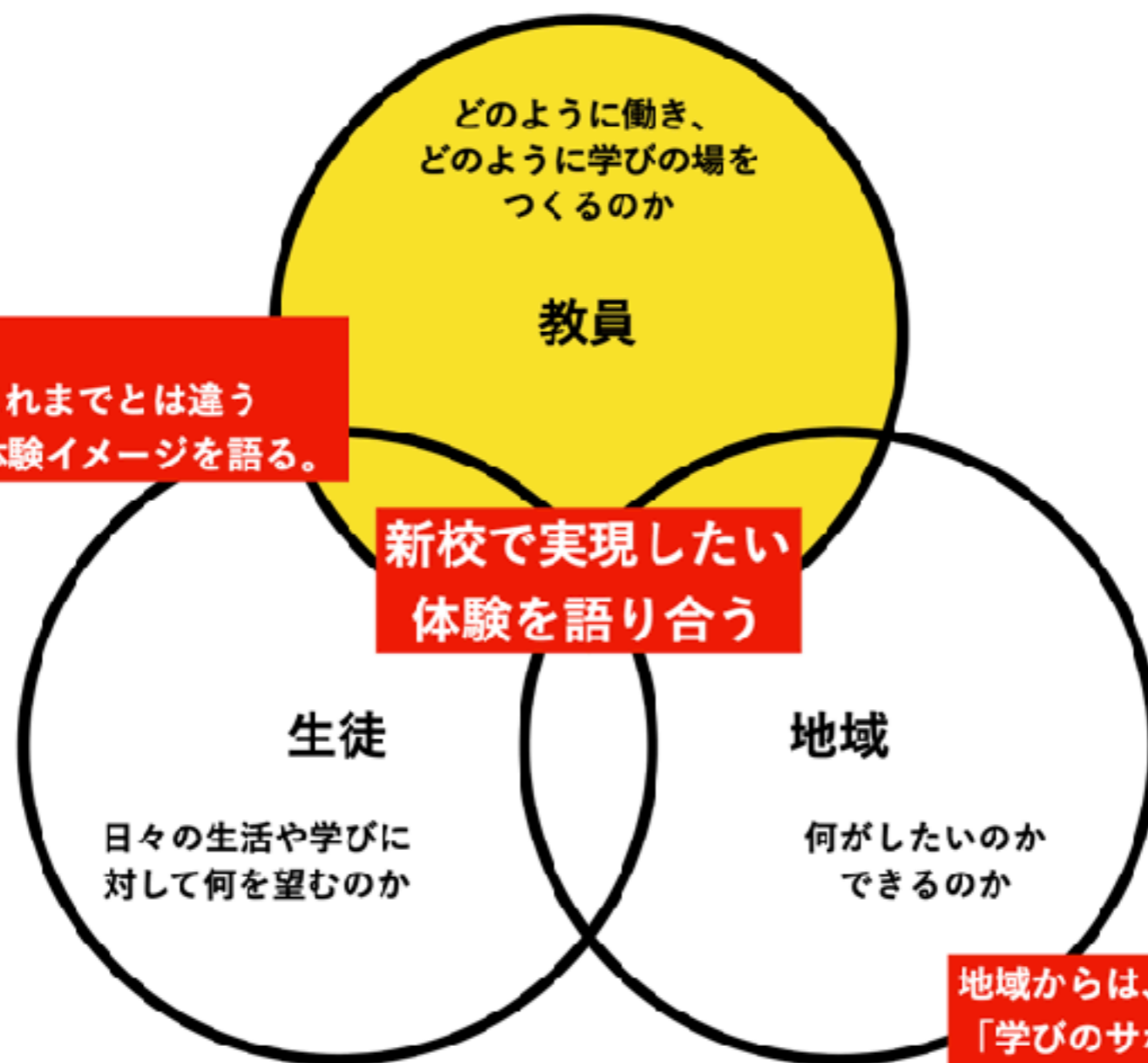
本質的な願い  
計画の羅針盤



# ワークショップのメンバー構成

新しい教育と学校空間について、幅広い「当事者」が広く参加し、教育（教師と生徒）、行政と地域が、立場を超えて、基本計画策定に必要なイメージやアイデアを膨らませる場として、「伊那新校ワークショップ」を設定する。

※ 具体的な教育プログラムや新しい学校空間の色や形を議論する場ではない。

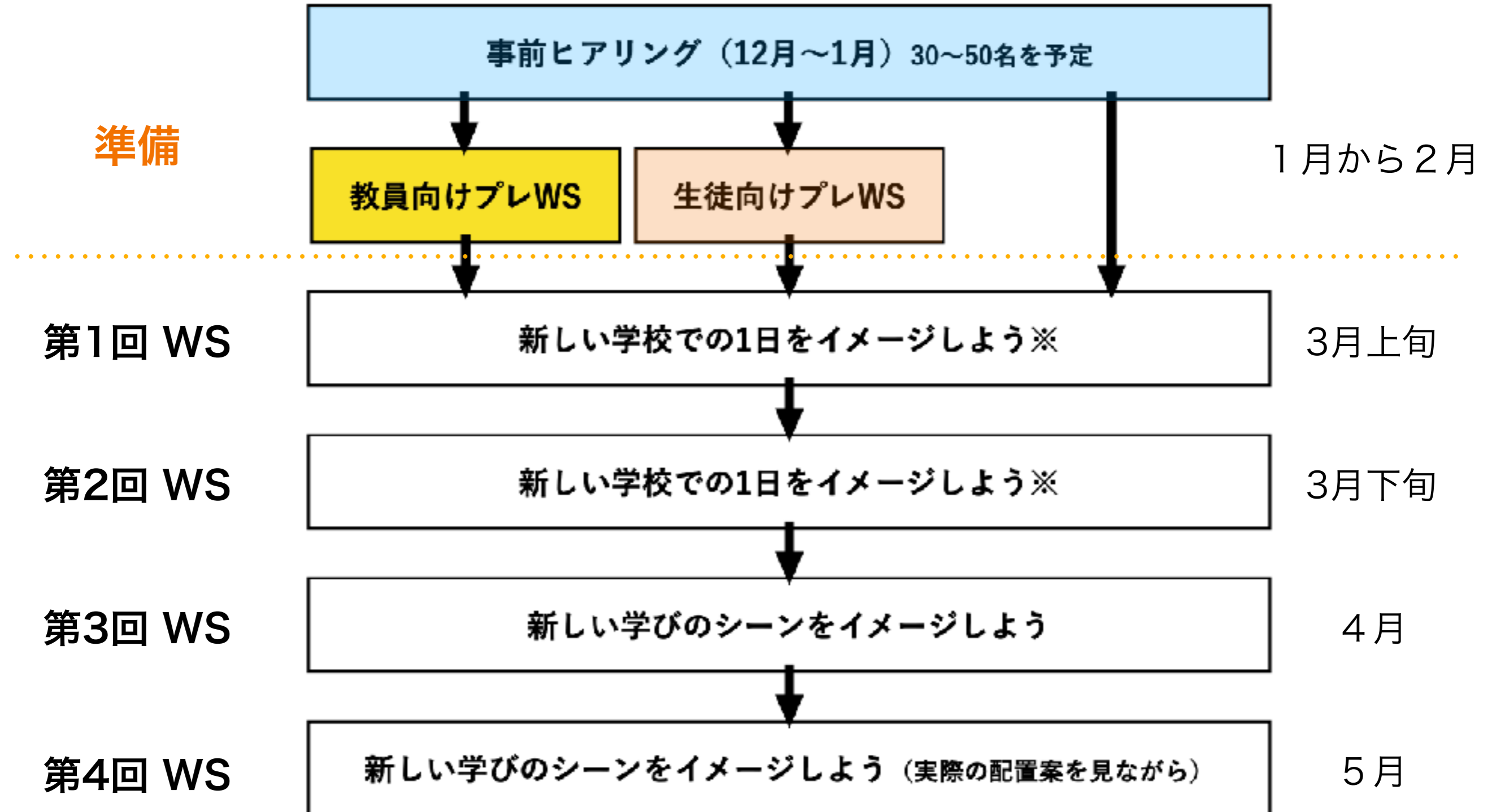


教員や生徒は、  
学びの当事者として、これまでとは違う  
こうだったらいいあの体験イメージを語る。

地域からは、これまでの要望型ではなく、  
「学びのサポーターとしての参加」から、  
そこで、提供することができる体験を語る。

# ワークショップの内容

地域ワークショップを開催しながら、適宜WS間にNSD部会を開催し、計画案を検討する。



⋮

※印有は教員、生徒、地域が別グループで話し合い、WS最後に結果をシェアする。

※印無は、グループを混ぜて話し合う。



# Thinking & Talking about New High-School!

このチラシは編集集中です

## 高大生もやもや会

～新しい高校ってどんなところ？～

時と場所: 2.11. **日時未定** 10:00-14:00

@たしゅうしつ 伊那市通り町ネイバーシップ2F

3月から開催するワークショップのプレ企画です

主催: 長野県教育委員会 NSDプロジェクト  
連絡先: 暮らしと建築社 tel.0265-98-7602 | kiki.forest.jp@gmail.com(九星)

### ゆっくり話して、考える、未来のこと

伊那北高校と伊那弥生ヶ丘高校が合併されるのは、皆さんも知っているかと思います。これから新築になっていく校舎を設計するその前に、現役で学んでいる皆さんと、ちょっと前にそこで学んでいた大学生が、「高校でどんな風に学びたい?」「新しい高校はどんなことができたらいい?」「もやもや...」「こうなったらいいな~」を話すワークショップをします。

ワークショップと言っても、なにか作り出そう!という困いものではありません。ちょっと年上の先輩たちと、ゆっくり話して、仲良くなりながら、新しい高校のことや、自分を振り返って未来のことを考える、そんな機会になればいいなと思っています。

————— ファシリテーター: 九星 美綺 (株式会社キキ)・瀧内 貴 (株式会社エリグラム)

ちょっと前まで高校生だった大学生も参加します



九星 美綺 (長野県立大4年)  
同じ長野県内の公立高校出身です。みんなでもやもやしながら、新しい高校でこうなったらいいなーということをお話できるような場になっています!



北原 佳奈 (長野県立大4年)  
皆さんの交流で、遠がりの高校生活1週目にしておくおくできることを、とても楽しみにしています!ぜひこれからよろしくお話しします!



井崎 寸観 (長野県立大2年)  
もやもやしていた高校生活は早くやめたくて大学生になりましたが、みなさんと一緒にもやもやするつもりです!話し合いましょう!



伊藤 彩 (成蹊大4年)  
自分も通っていた高校の先輩と目撃者も楽しんでいます!



宮澤 みずき (長野県立大3年)  
皆さんと関われるのをもっと楽しんでいます!今の高校生のリアルな情報とか聞いてかっこいいなって思っています!ぜひ色々お話ししましょう!

特に準備は  
ありません!

- ① なにかいいことを言わなければいけない場ではありません。皆さんが普段感じていることを出し合う時間です。
- ② この場は学年関係なく、こうなったらいいなを話せる場です。どの学年の人も緊張せず来てくださいね。
- ③ ちょっと先輩の大学生も来ます。普段悩んでいることや、進路のことなども相談してもいいでしょう。仲良くなってみてください。



# Thinking & Talking about New High-School!

# まとめ



# SDGs 持続可能な開発目標

4 質の高い教育を  
みんなに



## 4. 質の高い教育をみんなに

すべての人に包摂的(※)かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



## 5. ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る

6 安全な水とトイレを  
世界中に



## 6. 安全な水とトイレを世界中に

すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



## 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに

すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

11 住み続けられる  
まちづくりを



## 11. 住み続けられるまちづくりを

都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする

13 気候変動に  
具体的な対策を



## 13. 気候変動に具体的 な対策を

気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



## 15. 陸の豊かさも守ろう

陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る



## 16. 平和と公正をすべての人に

持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する



## 17. パートナーシップで目標を達成しよう

持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する



